

# にしじ

## 第4回 認定看護師・専門看護師 実践発表会 ..... P2~3

第15回 四国お遍路PCIライブ in 高知医療センター ..... P4 ~ 5  
 ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2017  
*Case Competition Award* 最優秀賞受賞 循環器内科 吉村 由紀 .. P6  
 地域連携病院のご紹介 Vol.96  
 特定医療法人竹下会 竹下病院 ..... P7  
 高知医療センター イベント情報 ..... P8

# 2

FEBRUARY 2018 Vol.148



昨年12月20日より運航を開始したドクターヘリ新機体

高知医療センターの理念 — 医療の主人公は患者さん —



# 認定看護師・専門看護師

平成29年11月3日(金)、くろしおホールで「はぐくもう、未来を創る 看護の力」をテーマに、認定看護師・専門看護師実践発表会を開催しました。基調講演では、日本赤十字看護大学教授の田村由美先生をお招きしてご講演をいただきました。また、認定看護師・専門看護師による実践発表では、院外から6題、院内から4題の発表がありましたので紹介いたします。

高知県の認定看護師・専門看護師が互いの実践活動を知る機会は少なく、この実践発表会が領域・施設を越えて互いの実践活動を知り、刺激を与え合う貴重な時間となっています。今回得た多くの学びを、看護の質の向上と地域および施設間の連携に役立てていきます。

第4回 認定看護師・専門看護師実践発表会委員長 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 久保 光恵



## 【基調講演】

### 認定・専門看護師の『熟練した看護実践』は

### 看護の質にどう影響するか

#### 【講師】

日本赤十字看護大学 共同災害看護学 教授

田村 由美先生

今回、日本赤十字看護大学より田村由美先生をお招きして、「認定・専門看護師の『熟練した看護実践』は看護の質にどう影響するか」というテーマでご講演をいただきました。田村先生は、ET(enterostomal therapist: ストーマ療法士)であり、皮膚・排泄ケア認定看護師の大先輩になります。今までに数々のご指導をいただきましたが、数年前に認定看護師の臨地実習を担当するに当たり、リフレクションの講義を受け、実習生の指導をしたことがあります。それ以後、当院でもご講演いただきたいとアプローチしており、今回実現することができました。

看護におけるリフレクションは、看護実践の中で感じた怒りや苛立ちなどの不快な感情や違和感(プラス感情も含む)をきっかけに始まる経験の振り返りによって、看護実践能力を高めていく思考様式です。リソースとなる認定看護師・専門看護師が、日々の看護実践での経験を意識的・意図的に振り返り批判的に分析することで、実践知を可視化していくことが看護の質を高めることであり、実践のツールである自分自身を磨くことが重要だと学びました。リフレクション思考のスキルを磨く学習に関してなど、まだまだご教授していただきたいことが多く、時間が足りないことが非常に残念でした。しかし、これからの自分たちが後進を育成していく中で必要なことを学ぶことができた貴重な講演でした。

皮膚・排泄ケア認定看護師 片岡 薫



教授 田村由美先生



# 実践発表会

## 実践発表内容

### 【第1群】〈座長〉竹崎 陽子 山崎 みどり

1. 放射線性皮膚障害へのセルフケア支援の課題-ケアに難渋した頭頸部がん患者への介入を通して-  
【高知医療センター】がん看護専門看護師 高橋 志保
2. 高知大学医学部附属病院における多職種心不全チームの取り組み - 末期心不全患者への全人的苦痛の視点から -  
【高知大学医学部附属病院】慢性心不全看護認定看護師 津村 早保
3. 摂食機能療法への取り組み 【いずみの病院】摂食・嚥下障害看護認定看護師 池澤 美和
4. ペン型インスリン注射後の針刺し防止に向けた“無刺しくん”の導入 - 糖尿病看護認定看護師・感染管理認定看護師の連携による業務改善 - 【細木病院】糖尿病看護認定看護師 片岡 典代
5. 当院におけるがん薬物療法の曝露対策の実態調査 【高知医療センター】がん化学療法看護認定看護師 高橋 麻衣

### 【第2群】〈座長〉岡林 志穂 松岡 義典

6. せん妄ケアの充実に向けて - 新たな仕組み導入の基盤づくりに取り組んで -  
【高知大学医学部附属病院】がん看護専門看護師 北川 善子
7. 地域包括ケア時代、精神障害者の地域移行・地域定着における精神科認定看護師の役割  
【近森病院 総合心療センター】精神科認定看護師 武田 直子
8. 生殖医療を受ける女性と夫への看護実践 - 高度生殖補助医療を受ける方への関わり -  
【高知医療センター】不妊症看護認定看護師 田淵 良枝
9. NICUにおける家族形成過程を支える看護実践の実際 - ビーズ・オブ・カレッジ® プログラムを通じた家族形成過程の支援を考える - 【高知医療センター】小児看護専門看護師 笹山 睦美
10. 当院におけるアピアランスケアの現状と課題 【高知大学医学部附属病院】乳がん看護認定看護師 藤原 キミ



## 生殖医療を受ける女性と夫への看護実践 - 高度生殖補助医療を受ける方への関わり -

不妊症看護認定看護師 田淵 良枝

女性の晩婚化・晩産化やライフサイクルにおいて、いつ子どもをもつか考える時、女性や家族は不妊治療（一般不妊治療・高度生殖補助医療）を選択する場合があります。治療を開始した場合、時間や治療費を捻出することへの心配や治療の副作用からくる健康や安全の喪失、治療を選択したことへの葛藤や家族間の気持ちのずれなど、様々な状況に直面します。

今回高度生殖補助医療における看護実践で、体外受精を初めて受ける女性と夫への関わりについて発表させていただきました。女性と夫は、体外受精にまつわる情報を習得し、また治療中夫婦の意見の違いが表面化しました。夫婦の関係が良好である点に立ち戻り話し合いを重ね、治療に臨むことができました。診察のたびに治療に関する新しい情報に触れ一喜一憂しながら治療を選択する女性・夫に、必要とする情報を繰り返し提供し、納得して治療を受けられる状態であるか、家族との関係性も聞き取りながら、治療スケジュールが遂行されるよう支援しました。今回は、女性が治療をきっかけに夫との関係を見直す機会を得て、家族関係の再構築や家族の成長を促す支援の重要性を感じました。

不妊症看護には、生殖医療への関わりのほかに、性と生殖に関する健康・権利（以下：リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）をサポートする役割があります。リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、生殖年齢にある男女など思春期以降生涯にわたる性と生殖に関する健康を意味し、すべての個人に保証されるべき概念です。具体的には、安全に妊娠・出産を享受でき、またカップルが子どもをもてる最善の機会を得られるよう、家族計画や妊産婦への保健指導・性感染症予防啓発活動などを通じ支援していきます。

今後も、多職種の方々と協働しながら、患者さんと家族の思い描く人生へのお手伝いを目指していきたいと考えています。



第15回

# 四国お遍路



高知医療センターにて  
第15回 四国お遍路  
PCIライブを開催!!

2017年10月21日(土)、第15回 四国お遍路 PCIライブ(以後、本ライブ)を高知医療センターで開催しました。四国各地から医師、看護師、生理検査技師、臨床工学士、放射線技師等、約200名という多くの医療従事者の方々に参加いただき、成功裏に終えることができました。



PCI(経皮的冠動脈インターベンション:風船治療やステント治療)とは、心臓を栄養する血管(冠動脈)の詰まり(狭窄や閉塞)をカテーテルという細い管を用いて治す治療法です。患者さんの身体的な負担を最小限にできることが特徴です。手首や足の付け根に痛み止め(局所麻酔)をした後に、直径2~2.6mm程度のカテーテルを手首や足の付け根の血管から冠動脈まで挿入し、最終的にバルーンやステントと呼ばれる医療器具で病変を内側から広げて治療します。

本ライブは2003年、冠動脈病変に対する様々なイメージングモダリティを用いたPCIの情報交換・技術習得により四国の医療の発展に寄与することを目的として発足しました。以後、年に1回、四国内の当番病院でライブデモンストレーションを開催し、多数の医療従事者が参加する四国で唯一のPCIラ

イブコースとなっています。

当院でのPCIライブは初めてであり、約1年前から準備を始めました。ぐろしおホールをライブ映像配信会場とし、当院のカテーテル検査室2部屋で行われる実際のPCIの放射線映像、術者の手元等のカメラ映像、血管内超音波や冠動脈CT等のイメージング映像を、リアルタイムで配信しました。参加者の皆さんはぐろしおホールにお集まりいただきました。朝9時から夕方5時までの本ライブを、5つのPCIセッションと3つのレクチャーセッションに分けました。

PCIセッションでは、2名の座長と4名のコメントーターを各県のPCIスペシャリストの先生方にお願ひし、実際の手技・映像を見ながら会場と術者が協力しあって、患者さんにとっての最善の治療を目指します。本ライブでは、6名の患者さんにライブでのPCI治療をお願ひし快諾いただきました。本ライブにご協力いただきました患者さん、ご家族の方々にこの場をおかりいたしまして再度御礼申し上げます。

このセッションでは、①慢性完全閉塞病変(CTO)、②分岐部病変、③びまん性病変、④左主幹部病変、⑤入口部病変に対するPCIを、私以外に、徳島赤十字病院、住友別子病院、香川大学、近森病院からPCI専門の先生方に術者をお願ひしました。



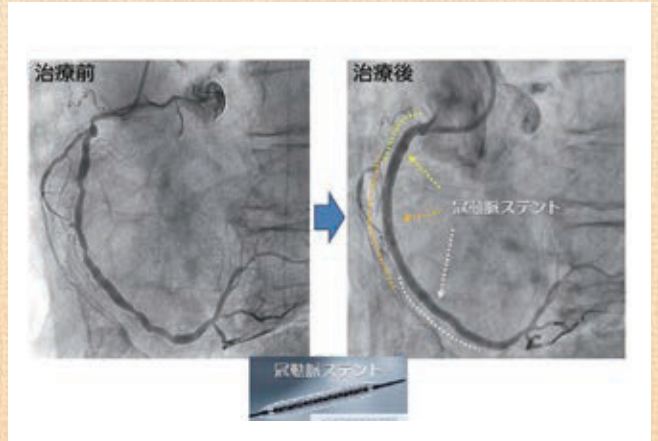
私は①と⑤を担当しました。PCI中は、放射線画像のみでは血管の形が見えないため造影剤という薬剤を適宜、血管内に注入し、血管の走行、病変の程度・長さ・性状を確認しながら治療を行っています。CTOとは何年も昔に詰まってしまった(閉塞)病変を言います。CTO病変は造影剤が流れな



# PCI ライブ

## in 高知医療センター

いため血管の走行が分からず病変自体も硬いため、PCIで最も難しい治療とされています。ただ、病変が閉塞していても、詰まっていない冠動脈から助け船の血管(側副血行路)が発達しており、CTO病変の先には血流があります。①の患者さんにも詰まっていない冠動脈から側副血行路がありました。閉塞病変の硬さが前もって分からないため、先端が柔らかいガイドワイヤーから徐々に硬いものに交換し進めていきますが、僅かにCTO末梢の血管とずれてしまいます。2本のガイドワイヤーを交互にコントロールしながらCTO末梢を狙いますがこれも僅かにずれます。1本目のガイドワイヤーに血管内超音波カテーテルを挿入し、血管内超音波映像を見ながら2本目のガイドワイヤーを誘導することによってCTO病変の通過に成功しました。バルーンで拡張後にステントを2本留置しました。



6人の患者さんの治療の一部をご紹介しましたが、全患者さんのPCI治療を無事良い形で終わることができました。このセッション中にはコメディカル(医師以外の医療従事者)の方々にも忌憚のない意見を発言してもらえよう『コメディカル裏ライブセッション』と題して、参加者に配るトランシーバーに別チャンネルを作り、コメディカルの方だけで意見交換を行える試みを行いました(術者・座長との交信も可能で貴重な意見をいただいています)。参加者の皆さんから大変好評をいただきましたし、患者さんへの最適なPCI治療の一助となりました。

レクチャーセッションでは、特別講演として香港のQueen Elizabeth病院循環器内科Kam Tim Chan先生から香港のPCIにおける最新のステント使用について、ショートレクチャーとして倉敷中央病院循環器内科の多田毅先生からOCT/OFDIというイメージングモダリティを用いたPCIの成績について、ランチョンセミナーとして川崎医科大学循環器内科の久米輝善先生から血管内超音波の最新のデータについてご講演いただき、世界における日本のPCIの立ち位置、最新のイメージングデータについて更に深く学ぶことができました。

最後となりましたが、本会を開催するに当たり、ご協力いただいた四国の各病院の皆さん、当院の各関係部署の皆さん、本ライブ運営委員会の皆さん、協賛いただいた企業の皆さんにこの場をお借りいたしまして深謝申し上げます。今回のPCIライブの経験を糧に、当科は今後も、世界でも最高レベルのPCIを実践していきたいと思えます。



②の患者さんは、90%狭窄の病変から1本の枝が枝分かれしています。血管内超音波で病変の性状や長さ、枝の状態を確認したあと、ステントを留置しました。ところが病変から出ている枝が閉塞してしまいました。しかし事前の会場とのやりとりの中でこの閉塞が予想されておりましたので、事前にもう1本ガイドワイヤーをその枝に挿入していました。そのワイヤーを利用して閉塞枝を拡張、再開通できました。

④の患者さんは、冠動脈の根元の枝分かれの病変で、それぞれの枝に99%狭窄、90%の狭窄があります。分岐部病変でもありステントの置き方が議論となりました。OCTという特殊なイメージングデバイスを駆使し、コメンテーターの先生方と議論を行いながら、最適な場所にステントを留置できました。

H30年2月吉日  
高知医療センター循環器内科科長 細木 信吾



# ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2017 Case Competition Award

## 最優秀賞受賞!!

### 循環器内科 吉村 由紀



#### SHD (structural heart disease)

という言葉をご存じでしょうか。日本語に直訳すると“構造的な心疾患”となります。具体的には心房中隔欠損症、僧帽弁狭窄症、大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症など非冠動脈疾患の事を意味します。

以前は外科的に開胸手術でしか根治治療ができない疾患が多かったのですが、近年ではカテーテルによる低侵襲な治療が増えつつあります。具体的な例を挙げると2013年に日本で保険償還を受け、現在全国的に普及しつつある重症大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療である経皮的な大動脈弁置換術(TAVI)などが当てはまります。そういった構造的な心疾患のカテーテル治療に関する学会が“ストラクチャー・ジャパン”です。

先日、この学会で世界では報告例がありますが日本ではまだ報告例のない成人患者で「経皮的な心房中隔裂開術」を施行した一例について発表し、最優秀演題賞をいただきました。この経皮的な心房中隔裂開術はカテーテルで心房中隔に穴を開け、左心系の負荷を軽減する治療です。この治療により肺循環補助装置からの離脱が可能となった症例を経験しました。

臨床の現場にいると本来であれば開胸による外科的治療が必須であるにも関わらず、高齢や合併症のため開胸手術が困難であり心不全を度々繰り返す患者さんを経験する

ことが数多くあります。その度に薬物治療の限界を実感し、悔しい思いをしてきました。そういった患者さんにとって、より低侵襲かつ根治も可能なカテーテル治療は非常に有益なものと考えられます。SHDのカテーテル治療分野の発展は目覚ましく、近年中には心不全の原因として多い僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療、Mitra Clipが日本でも施行できるようになる可能性があります。

その他にも心原性脳塞栓症の原因となり得る左心耳のカテーテル閉鎖術など世界では臨床の現場ですで行われているカテーテル治療も数多くあります。高齢社会となり、心疾患患者さんの年齢も高齢となっています。高知県は特に高齢化率が高く、SHDのカテーテル治療は高知県にとって非常に有益と考えられます。

これからも日本の田舎である高知県で、世界の最先端の治療をハートチーム一丸となって頑張っていきたいと思います。







# 特定医療法人竹下会 竹下病院

〒780-0863  
 高知市与力町3番8号  
 TEL：088-822-2371  
 FAX：088-822-2375  
 H P：http://www.takeshita-hp.jp/

【診療科】

内科、リウマチ科、老年内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、外科、消化器外科、肛門外科、内視鏡外科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、整形外科、リハビリテーション科、(人工透析50床)

【リンクノースケアセンター】

訪問看護ステーション芽生  
 居宅支援事業所わかば(平成29年12月より開始)  
 デイサービス たけのこ(平成30年1月より開始)



高：地域との連携や他医療機関との連携について貴院での取り組みなどお聞かせください。

竹：地域との連携では、まず病院の広報誌「竹っこ」があります。H14年1月に創刊し、機関誌としてこれまでに61号を発刊しております。発行部数は現在500部です。来院の患者様や地域の方に配布して読んでいただいております。また平成19年から毎年5月に一般市民の方を対象に商工会館において「健康フェスタ」も開催、健康に関する講演、医療相談、血糖値測定、その他いろいろ楽しい催しがあります。さらに、院内では月1回、病院のスタッフによる各種教室も開かれ、病気のこと、検査や薬、リハビリ、医療費のことなど、多種多彩です。

他医療機関との連携ですが、定期的に病院訪問や地域連携交流会などに参加し、顔の見える関係を築いていけるよう努めています。寝たきり状態で受診困難な患者様に対しては、眼科や血管外科、形成外科などの連携病院の先生方に往診をお願いしています。今後はさらに病診連携をすすめ、また在宅を担う事業所の方々との連携も密に図れるよう取り組んで行きたいです。

高：今後、貴院が目指されていくことなどをお聞かせください。

竹：地域包括ケアシステムの実現に向けて、医療と暮らしを繋ぐ当院の地域での役割をしっかりと果たしていくことです。その為に、救急病院からの患者様の受け入れはもとより、在宅や連携施設からの救急患者の受け入れができる体制を整え、患者様が住み慣れた場所へ帰り治療の継続ができるよう、暮らしに寄り添う在宅サービス部門の拡充を目指しています。また、命の尊厳を守れるように、患者様の意向に沿った看取りができる体制作りにも尽力して行きたいです。「初診から終末期までの切れ目のない医療の提供」、これが目標です。

高：最後に高知医療センターとの連携についていかがですか？

竹：日頃は何かと大変お世話になっております。当院も糖尿病による透析患者様が53%と過半数を占めており、それだけに合併症も多様です。脳血管障害、心筋梗塞、心弁膜症、急性腹症、悪性腫瘍、感染症による敗血症、骨折など様々ですが、これらの疾病で急変された患者様をお願いすることも多く、いつも適切に受け入れていただき、感謝しております。今後も、当院との病々連携の更なる推進をお願いいたします。

ご多忙の中、取材にご協力いただきありがとうございました。

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:30	●	●	●	●	●	※1	
13:30 ~ 17:20	●	●	●	●	●		

休診日：日曜日・祝祭日・年末年始 ※19:00 ~ 12:05

特定医療法人竹下会 竹下病院は昭和22年9月1日に開院。平成15年12月15日に法人日本医療機能評価機構認定を取得。

患者様やご家族との信頼関係を尊重し、医療を通じて地域社会の健康と福祉に専念しています。

高知市の中心街に立地し、内科、リウマチ科、老年内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、肛門外科、泌尿器科、婦人科を主に専門としている病院です。一般病棟38床(地域包括10床)、障害者施設38床、人工透析50床を併せ持ち、在宅支援病院として救急病院の後方支援と、在宅支援診療所の前方支援を行い、医療と暮らしを繋ぐ役割を担っています。また、高知市の災害時の救護病院でもあります。

患者様が「病気になったらまた来たい」「周りの人に紹介したい」と思っただけのような病院作りを目指しています。

(竹：竹下病院、高：高知医療センター)

高：貴院が現在力を入れていることを具体的にお聞かせください。

竹：6月より新病院へ移転し、透析ベッドを50床に、障害者施設等一般病棟も38床に増床しました。

医療依存度が高く自宅への退院困難な透析患者様を始めとした様々な疾患についての転院相談に対応しますので積極的にご相談下さい。これにより、重症度が高く自宅の通院困難な透析患者様の受け入れがより一層できるようになりました。

また、新病院では高齢診療科を新設し、物忘れ外来を始めました。年内には休止していた訪問看護を再開し、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリなど在宅支援部門も拡充し、高齢者医療への対応にも力を注いでいます。



月	日	曜	高知医療センター イベント情報			
2月	2	金	<b>第12回 高知集中治療専門医養成セミナー</b> (参加費無料・申込不要)			
			内容	痛みの基礎と臨床	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール
			時間	18:00~19:00	対象	医療関係者
				講師	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学講座 助教 賀来 隆治 氏	
				お問合せ: 高知医療センター 集中治療科 難波 TEL:088(837)3000(代)		
	3	土	<b>高知医療再生機構 小児科専門医養成支援事業</b> (参加費無料・申込不要)			
			内容	ミトコンドリア病の病態研究から創薬、 新規バイオマーカーの開発まで	場所	高知医療センター がんサポートセンター 4階 研修室
			時間	15:00~16:15	対象	医療関係者
				講師	久留米大学医学部 小児科 教授 古賀 靖敏 氏	
				お問合せ: 高知医療センター 小児科 西内 律雄 TEL:088(837)3000(代)		
3	土	<b>第48回 地域医療連携研修会</b> (参加費無料・申込不要)				
		内容	講演1:認知症 一特に予防について— 講演2:認知症の方の理解とケア	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール	
		時間	14:00~15:40	対象	医療関係者	
			講師	講演1:高知医療センター 副院長兼こころのサポートセンター長 山下 元司 講演2: 同 精神科看護認定看護師 岡村 邦弘		
			お問合せ: 高知医療センター 地域医療連携室 門田・松本 TEL:088(837)3000(代)			
9	金	<b>高知医療センター 臓器移植セミナー</b> (参加費無料・申込不要)				
		内容	患者家族の意思を尊重する 選択肢提示(仮)	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール	
		時間	18:00~19:30	対象	医療関係者	
			講師	長崎大学病院 救命救急センター 助教 平尾 朋仁 氏		
			お問合せ: 高知医療センター 事務局 経営企画課 江口 TEL:088(837)3000(代)			
15	木	<b>高知医療センター看護局集合研修 他施設公開研修</b> (参加費無料・申込要) <b>※申込期限:2月5日(月)</b>				
		内容	成人BLS/AED研修	場所	高知医療センター 2階 スキルズラボ室	
		時間	13:00~16:00	対象	看護師(3名)	
			講師	高知医療センター BLSインストラクター		
			参加ご希望の方はお問い合わせください お問合せ: 高知医療センター 看護局 教育担当(野中、三浦、藤本) TEL:088(837)3000(代)			
16	金	<b>平成29年度 消化器内科セミナー</b> (参加費無料・申込不要)				
		内容	POEM —Per-Oral Endoscopic Myotomy—	場所	高知医療センター 1階 研修室	
		時間	19:00~20:30	対象	医療関係者	
			講師	岡山大学病院 総合内科 県南西部総合診療医学講座 助教 杉原 雄策 氏		
			お問合せ: 高知医療センター 臨床研修管理センター 副センター長 根来 裕二 TEL:088(837)3000(代)			
18	日	<b>高新・高知医療センターがんセミナー2017</b> (参加費要・申込要)				
		内容	皮膚腫瘍について 一良性と悪性—	場所	高新文化教室(RKC高知放送南館3階37号室)	
		時間	10:30~12:00	対象	一般(40名)	
			講師	高知医療センター 皮膚科 科長 高野 浩章		
			お問合せ・お申込み: 高新文化教室 TEL:088(825)4322 受講料 1,500円/1回			
24	土	<b>平成29年度 全国自治体病院協議会県支部研修会</b> (参加費無料・申込要)				
		内容	平成30年度 診療報酬改定について	場所	高知城ホール 4階 多目的ホール(高知市丸ノ内2丁目1-10)	
		時間	14:00~16:00	対象	医療関係者	
			講師	一般社団法人 日本血液製剤機構 谷澤 正明 氏		
			お問合せ: 全国自治体病院協議会高知県支部事務局 高知医療センター事務局内 中村 TEL:088(837)3000(代)			
3月	1	木	<b>平成29年度 高知医療センターワイドコラボセミナー</b> (参加費無料・申込不要)			
			内容	エンドオブライフ・ケアの 意思決定支援について	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール
			時間	18:00~20:00	対象	医療関係者
			講師	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田 薫子 氏		
			お問合せ: 高知医療センター 事務局 経営企画課 江口 TEL:088(837)3000(代)			

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

## 編集後記

暦の上では立春を迎え春ということですが、まだまだ寒い日が続いています。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

なかなか春を感じにくいところですが、私が習っている生け花の世界では春のお花を生け始めています。この季節は夏に比べ、長くお花を楽しむ事ができるのがうれしいところです。

高知医療センターの外來エリアにも、病院ボランティアグループ「ハーモニー高知」の方々によって四季折々のお花が生けられています。生き生きとした花たちにパワーをもらい、この季節を楽しみながら過ごせたらと思います。(広報委員 西山)



平成30年2月1日発行  
にじ2月号(第148号)  
毎月発行  
編集者: 広報委員会  
発行者: 吉川 清志  
印刷: 株式会社 高陽堂印刷

発行元:  
高知県・高知市病院企業団立  
**高知医療センター**  
〒781-8555 高知県高知市池2125-1  
TEL:088(837)3000(代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp